

# 和歌山縣報

第千百六十一號

明治四十五年四月六日

## ○縣令

○和歌山縣令第十四號

明治三十八年<sup>八月</sup>和歌山縣令第二十八號短冊形共同稻苗代設置規程ハ之ヲ廢止ス

明治四十五年四月六日

和歌山縣知事 川村竹治

○和歌山縣令第十五號

明治四十年<sup>七月</sup>縣令第三十八號渡航ニ關スル規則中第一條第一項第四、第五號ヲ左ノ通改正ス  
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十五年四月六日

和歌山縣知事 川村竹治

四 再渡航者及在外者ノ呼寄ニ依リ渡航セムトスル者ハ當該領事ノ發給ニ係ル在留證明書又ハ呼寄ニ關スル證明書

五 移民以外ノ渡航者<sup>(再渡航者ヲ除ク)</sup>ニ在リテハ本人又ハ戶主、若ハ出資者ノ地租、所得稅、營業稅其ノ他ノ納稅額ニ關スル市町村長ノ證明書

## ○訓令

和歌山縣訓令第十號

合

郡 役 所  
市 役 所  
村 役 所

共同稻苗代ノ設置ニ付テハ明治三十八年八月之カ設置規程ヲ設ケ爾來一貫ノ方針ヲ以テ之カ實行  
 ヲ督勵セ又農會ヲシテ百方獎勵ノ方法ヲ講セシメタルヲ以テ成績漸ク見ルヘキモイテ至ルキ  
 ヲト難遺憾ノ点ナキニアラス而カモ這般該設置規程ヲ廢止シタル所以ノモノ蓋シ農家ノ煩累ヲ顧  
 慮シ兼テ官廳事務ノ簡捷ヲ期セントスルノ趣旨ニ出テタルモノニシテ之カ設置ノ勸奨ニ於テハ何  
 等方針ヲ改メタルニアラス要ハ積極的ニ之カ實行ヲ促シ以テ現實ニ効績ヲ擧ゲシメテトスルニ外  
 ナラサルヲ以テ茲ニ該規程ヲ廢止シテ農家ノ手數ヲ省キ敢テ何等ノ制裁ヲ加ヘサルコト、レニ  
 農家ノ自覺ト當路者ノ督勵トニ待タムトスルモノナリ同ニ當ル者宜シク地勢ニ鑑ミ水利ヲ察シ又  
 能ク農村ノ狀況ニ照シ適切ノ方法ヲ設ケ督勵ヲ加ヘ以テ所期ノ目的ヲ達スルニ留意シ措置遺漏ナ  
 キヲ期スヘシ

明治四十五年四月六日

和歌山縣知事 川村竹治

告 示

和歌山縣告示第百二十一號

北新置廳ニ於テ客年區畫測量設本年處分スヘキ新殖民地ノ箇所左記ノ通設定シタル旨同廳長官ヨリ  
 通知アリタリ

明治四十五年四月六日

和歌山縣知事 川村竹治

北海道廳告示第百六十四號

明治四十四年測設殖民區畫地中北海道國有未開地處分法第三條ニ依リ設定シタル特定地左ノ如シ  
明治四十五年三月十三日  
北海道廳長官 石原健三

特 定 地

後志支廳管内(區畫地)

國 郡 町村 大字

區畫地名

概 算 地 積

膽振 虻田 眞狩 東俱知安

カシユブニ

二一〇、七六〇〇ク

北海道廳告示第百六十五號

明治四十四年新設殖民區畫地中北海道國有未開地處分法第二條第四條第五條ニ依リ賣拂貸付スヘキ土地及同法第三條ニ依ル特定地ヲ左ノ如ク設定シ願書ハ明治四十五年四月一日ヨリ所轄支廳ニ於テ受理ス但シ圖面ハ北海道廳及所轄支廳並小樽、函館、室蘭、青森、福島、伏木、名古屋、神戸ニ於ケル北海道移住民取扱員事務所ニ備置ク

明治四十五年三月十四日  
北海道廳長官 石原健三

特 定 地 但シ△ヲ付シタルハ全部豫定存置濟ナリ

網走支廳管内(區畫地)

國 郡 町村 大字 區別地名

概 算 地 積

北見 紋別 落滑 △サクル

九三、三七二〇

同	同	同	北見	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
宗谷	同	同	枝幸	宗谷支廳管内	同	同	斜里	同	同	同	常呂	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
稚内	同	同	枝幸	同	遠音別	朱圓	手師學	鎔沸	野付牛	鎔沸	同	同	上湧別	落滑	雄武	落滑	沙留	落滑	落滑	落滑	落滑
聲問	同	頓別	歌登	頓別				野付牛	野付牛												
上聲問	△上頓別	△ニカチナイ	頓別		イヤシコツ	アツカンベツ	イワウベツ	ニコロ	△トプウシニベツ	上クンチツア	カロマベツ	パロ	マウレセア	白龍	タツウシ	上雄武	△オムサロ	△サクム			
九八三、〇〇二二	六八三、四四二五	九五、七四一〇	二七七、四四一四		四〇三、九四〇五	六六九、五八二二	七九三、四九二二	一〇九、九五一一	一、〇四二、一一〇六	七〇、〇〇〇〇	五〇、〇〇〇〇	一七一、三一二二	五〇四、四八一三	一、六二六、六六一七	三三四、二一〇七	五三一、四五〇二	一二七、四七二四	一一六、六五二五			

同

同 穉拂

上穉拂

一一九、六四〇七

天鹽

同 天鹽 天鹽

△下エベコロベツ  
オエブナイ

一六五、一四〇四  
五一、六八二四

關路

同 白糠 白糠

△上茶路

一〇四、〇八二七

同

同 尺別

音別

三七七、五五二八

同

同 川上 熊牛

クテコロ

八〇七、三九二二

同

同 川上 熊牛

セチリ

四〇一、七二二七

十勝

同 十勝 大津

當緑

西チオブシ

八一、二〇一〇

同

同 同 同

同

チオブシ

五七、五七一〇

同

同 中川 同

同

湧洞

六五、三九一四

石狩

同 雨籠 一巳

同

△ウシシユメツ

五一、一八一五

同

同 空地支廳管内

同

△チカブオツ

一三七、八五〇七

同

同 同 同

同

△上多度志

六五、八一二二

同 樺戸 新十津川

日高 浦河支廳管内 幌去

同 沙流 幌去

同 同 同

同 三石 三石

同 三石 三石

同 望蘭支廳管内

同 有珠 壯瞥

同 蛇田 辨邊

同 後志支廳管内

同 余市 大江

同 同 赤井川

同 積丹 入崩

同 古平 古平

同 同 同

同 古字 神惠内

同 同 同

同 虻田 狩太

同 同 東俱知安

同 同 俱知安

トツ美

イワナイ

ウツヤ

上三石

ソーケシニオマベツ

上昆布

長澤

湯ノ澤

積丹

△上古平

古平

淵ノ澤

トーマル

ルベシユベ

ペーメナイ

△俱知安字エブリカンベツ

二六七、二六二三

二六七、二六二三

和歌山縣報 第一一六號 明治四十五年四月六日

同	同	同	同	同	同	同	同	同	北見	國	賣拂又ハ貸付地	勝振	後志	同	同	同
斜里	同	同	常呂	同	同	同	同	同	紋別	郡	網走支廳管内(區畫地)	山越	瀬棚	檜山支廳管内	同	同
朱圓	同	野付牛	錦沸	同	上湧別	渚滑	雄武	沙留		町村		長萬部	利別		東俱知安	同
		野付牛								大字					真狩	同

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
		野付牛														

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

概算地積







函館支廳管内

渡島

松前

福島

湯ノ野

八九、九〇〇〇

同

同

同

宿部

一五、四〇〇〇

同

同

同

網走

三七、三四〇〇

膽振

山越

八雲

八雲

オヲムルベシヨ

二四一、八三〇〇

北海道廳告示第百七十一號

左記ノ箇所ハ官林ヲ解除シ北海道國有未開地處分法第二條第四條及第五條ニ依ル賣貸地ニ編入ス

明治四十五年三月十六日

北海道廳長官 石原健三

賣拂又ハ貸付地

宗谷支廳管内(區畫外)

國

郡

町村

大字

地名

概算地積

北見

宗谷

宗谷

猿拂

猿拂

四〇三、三三二〇

北海道廳告示第百七十二號

明治四十三年<sup>十二</sup>月<sup>十二</sup>日 北海道廳告示第九百十八號特定地天鹽國中川郡下名寄村字ヒウカ増畫百八十七

町七段五畝十一歩ノ内十七町五段六畝十四歩ヲ北海道國有未開地處分法第二條第四條第五條ニ依

ル賣拂貸付地ニ變更ス

明治四十五年三月十六日

北海道廳長官 石原健三

北海道廳告示第七十三號

北海道國有未開地處分法第二條第四條第五條ニ依リ賣拂貸付スヘキ土地左ノ如ク但シ圖面ハ北海  
道廳及所轄支廳ニ備置ク

明治四十五年三月十六日

北海道廳長官 石原健三

賣拂又ハ貸付地

後志支廳管内(區畫外)

國 郡 町村 大字 地名

概算地積

樹木有無

後志 磯谷 南尻別

上目名甲

七〇、五八一〇

針葉混林

同 同 同

同乙

一〇五、八七二五

同混林

○和歌山縣告示第百二十二號

左記ノ者頭書ノ番號ヲ以テ本日和歌山縣產婆名簿ニ登錄ス

明治四十五年四月六日

和歌山縣知事 川村竹治

有田郡箕島町大字新堂七二七番地

和歌山縣平民

第七七二號

中山たけ

明治二十二年六月生

○和歌山縣告示第百二十三號

左記ノ者頭書ノ番號ヲ以テ本日和歌山縣產婆名簿ニ登錄ス

明治四十五年四月六日

和歌山縣知事 川村竹治

日高郡志賀村大字志賀千九百七十九番地

和歌山縣平民

第七七一號

深 海 エ イ

明治廿一年十一月生

○和歌山縣告示第百二十四號

和歌山縣蠶業取締所支所ヲ左記ノ通設置ス

明治四十五年四月六日

和歌山縣知事 川村 竹治

記

名 稱

位 置

管轄區域

開所月日

設置期間

和歌山縣蠶業取締所  
田邊支所

西牟婁郡  
田邊町

日高郡西牟婁郡  
東牟婁郡

四月十三日

常 置

○通牒照會

○通 牒

○勸第三二四四號ノ一

明治四十五年四月六日

内務部長

各 郡 市 長 殿

各 町 村 長 殿

我カ當業者カ在「セノア」帝國名譽領事ニ宛テタル文書記載方ニ關シ在伊大使ヨリ別紙寫ノ通報告

有之候處獨リ本件ニ限ラス歐米各國ニ在ル我名譽領事及歐米ノ當業者ニ對シテモ通信文ニ日本語ヲ用フルノ事實ハ屢次耳ニスル義ニ有之斯ル非實務的ナル方法ヲ探ルモノアルハ我對外貿易ノ發展上甚タ遺憾ノ次第ニ付當業者ヘ注意方其ノ筋ヨリ通牒越候條御部内當業者ニ對シ此旨御示承相成度

(別紙)

明治四十五年二月八日

外務大臣子爵内田康哉殿

在伊特命全權大使男爵 林 權助

自伊貿易ノ發展ニ伴ヒ近時本邦内地官民ヨリ當國駐在我名譽領事ヘ宛テ商業ニ關スル各種ノ照會及取調依頼等ノ文書ノ往復漸次頻繁ヲ來シタルハ擇ハシキ現象ニ有之候處中ニハ日本文ニテ記載スルモノ多ク有之其都度名譽領事ヨリ當館ヘ翻譯方依頼シ來ル實況ニシテ現ニ目下在「セノア」帝國名譽總領事館ニ於テ開設準備中ニ屬スル商品見本陳列館ヘ出品ノ爲メ本邦商人及團休ヨリ送付スル書簡並ニ送狀等ハ邦文ヲ以テ記載スルモノ多キノミナラス地方官廳ヨリノ文書モ同様ノ有様ナルヲ以テ同領事館ヨリハ一々當館ヘ右書類ヲ轉送シ翻譯ヲ依頼シ來ルノ次第ニ有之當館ニ於テハ爾來可成右ノ希望ニ應ジ居候ヘ共右書類中ニハ浩澹ナル表等ノ如キモノアルノミナラス商業ニ關スル専門的事項多キヲ以テ之ヲ完全ニ翻譯スルコト容易ナラス且ツ當館公務ニモ差支ヲ來スヘク又一方常ニ斯ノ如ク受信者ニ不解ナル邦文ヲ以テ記載スルバ相互ノ意思ノ疏通ヲ欲クノミナラス商取引ノ發展ヲ期スルコト困難ノ義ト認メテレ候ニ付爾今當國駐在我名譽領事宛ノ文書ハ少クトモ英佛、獨、伊語ノ何レカニテ記載セシムル様一般ニ御注意方御取計相成候様致度尙序ヲ以テ申

添度ハ名譽領事宛文書ノミナラス日本商人ヨリ當國商人又ハ個人宛ノ文書中ニ日本文ニテ認メ來  
 リ當館ニ其文意ノ開示方ヲ願出ツルモノ少カラス甚シキ一例ヲ舉ケレバ客年中當國商人ヨリ大阪  
 某具卸製造所ヘ商取引ノ條件等ヲ照會シタルニ對シ炭酸紙ヲ使用シタル薄葉日本紙ヘ本邦文ニテ  
 一見解シ難キ草書体ニテ繕々取引條件價格等ヲ回答シ來リ尙ホ追書トシテ「右ニ對スル今後ノ御  
 回答ハ日本文ニテ御記載相成ラハ幸甚」云々ノ文句有之之ノ如キハ其極端ナル一例ニ過キヤルヘ  
 キモ當國內ニ於テハ日本文ノ回答ヲ作ルモノハ勿論右ノ如キ文書ヲ解スルモノサヘ之レヲ當國人  
 中ニ發見スルヲ難シトスル實狀ニ有之候ヘハ當國中ニ折角本邦商人ト取引ヲ開始セントスルノ  
 希望ヲ有スルモ右様ノ仕末ニテ斷念セサルヲ得サルニ至ラレムルハ遺憾ノ次第ニ有之然リト雖本  
 邦商人ニ於テモ今直チニ英語又ハ其ノ他ノ外國語ヲ用コルコト困難トスルモノ多シトセハ少ク  
 モ商業會議所又ハ同業組合中ニ一ノ翻譯的機關ヲ設ケ外國取引ノ媒介ヲ爲サシムルコト、セハ農  
 分ノ不便ヲ醫スルコトヲ得ヘキカト考ヘラレ候爲御參考申進候敬具

○ 辭 令

○明治四十五年三月三十一日

有田郡箕島町立實業學校助教諭心得 則 岡 太 一

願ニ依リ職務ヲ免ス

ヘンリー、アラス

願ニ依リ和歌山縣立德義中學校英語科教授囑託ヲ解ク

和歌山中學校教諭 野 溝 雅 二

和歌山市立和歌山商業學校教諭ニ任ス  
七級俸ヲ給ス

願ニ依リ職務ヲ免ス

和歌山縣有田郡藤並村田殿村御靈村學校組合立吉備實業學校助教諭ニ任ス  
九級俸ヲ給ス

月俸拾七圓ヲ給ス

月俸拾參圓ヲ給ス

九給俸當分月俸拾四圓ヲ給ス

御用濟ニ付職務ヲ免ス

和歌山縣日高郡御坊町尋常高等小學校訓導兼校長ニ任ス

本科正教員勤務

四級下俸ヲ給ス

和歌山中學校教諭

川崎義人

唐瀧ゆき

農林學校助手

中川健三

農林學校助手

西茂芳

有田郡藤並村田殿村御靈村學校組合立吉備實業學校助教諭

唐瀧さよ

檢疫官

關忠英

師範學校訓導兼教諭

山崎兼次郎

和歌山縣伊都郡高野口尋常高等小學校訓導ニ任ス

師範學校訓導 板 阪 由 助

本科正教員勤務

七級下俸ヲ給ス

師範學校訓導 近 藤 鐵

和歌山縣那賀郡粉河尋常高等小學校訓導ニ任ス

本科正教員勤務

九 上俸ヲ給ス

有田郡箕島町立實業學校助教諭 岩 本 正 助

和歌山縣和歌山市湊南尋常小學校訓導ニ任ス

本科正教員勤務

七級下俸ヲ給ス

日高郡立日高第一實業學校教諭兼校長 三 木 正 憲

願ニ依リ職務ヲ免ス

日高郡長 田 納 稔

日高郡立日高第一實業學校長事務取扱ヲ命ス

市 川 幸 一

市立和歌山實科高等女學校教諭ニ任ス

十級俸ヲ給ス



市立和歌山實科高等女學校助教諭心得ヲ命ス  
月俸貳拾四圓ヲ給ス

池上はる

市立和歌山實科高等女學校書記ニ任ス  
九級俸ヲ給ス

佐々木祐定

市立和歌山實科高等女學校教授ヲ囑託ス  
月手當七圓ヲ給ス

佐々木祐定

○明治四十五年四月一日

根津繁三郎

和歌山市立和歌山商業學校教諭ニ任ス  
七級俸當分月俸四拾參圓ヲ給ス

鈴木宇宙

和歌山縣立和歌山中學校教諭ニ任ス  
六級俸ヲ給ス

休職愛媛縣松山市立松山高等小學校訓導

野口正明

和歌山縣立田邊中學校教諭ニ任ス  
七級俸ヲ給ス

(各通)

和歌山縣師範學校教諭兼和歌山縣師範學校調導ニ任ス

七級俸ヲ給ス

(各通)

休職栃木縣足利郡菱森常高等小學校調導

關谷 國英  
銅直 勇

和歌山縣立粉河中學校教諭ニ任ス

七級俸ヲ給ス

新宮驅蠶院調劑員

田村 雄三

月俸參拾參圓ヲ給ス

德義中學校教諭

山崎 瀧三

八級俸ヲ給ス

德義中學校書記

鈴木房之助

月俸拾六圓ヲ給ス

大塚 貞

東牟婁郡新宮町立高等女學校助教諭心得ヲ命ス

月俸貳拾五圓ヲ給ス

上原みよじ

東牟婁郡新宮町立高等女學校助教諭心得ヲ命ス

月俸貳拾圓ヲ給ス

市立和歌山實科高等女學校長事務取扱ヲ命ス

市立和歌山實科高等女學校教諭ニ任ス

五級俸ヲ給ス

市立和歌山實科高等女學校教諭ニ任ス

九級俸ヲ給ス

市立和歌山實科高等女學校助教諭心得ヲ命ス

月俸貳拾參圓ヲ給ス

市立和歌山實科高等女學校助教諭心得ヲ命ス

月俸貳拾圓ヲ給ス

市立和歌山實科高等女學校教授ヲ嘱託ス

月手當五圓ヲ給ス

○明治四十五年四月二日

和歌山市長

加藤 榮

矢野加壽滿

武井ふく

藤本カツ

廣田富子

曾根政之助

月俸拾四圓ヲ給ス

農業技手

崎山信吉

和歌山縣農業技手ニ任ス

高木直一

月俸拾六圓ヲ給ス

内務部勸業課勤務ヲ命ス

西久兵衛

和歌山縣伊郡郡立農蠶學校助教諭心得ヲ命ス

西本龜太郎

月俸貳拾參圓ヲ給ス

和歌山縣蠶業取締吏員ヲ命ス

月俸貳拾圓ヲ給ス

蠶業取締所勤務ヲ命ス

○明治四十五年四月四日

六車茂

和歌山縣立新宮中學校教諭ニ任ス

七級俸ヲ給ス

技師

片平英夫

内務部勸業課勤務ヲ命ス

和歌山縣蠶業取締吏員ヲ命ス

月俸貳拾貳圓ヲ給ス

蠶業取締所勤務ヲ命ス

月俸參拾參圓ヲ給ス

月俸參拾貳圓ヲ給ス

(各通)

月俸貳拾五圓ヲ給ス

月俸貳拾貳圓ヲ給ス

月俸拾七圓ヲ給ス

松山登太郎

蠶業取締吏員

藤田豊海

蠶業取締吏員

田中英一郎

蠶業取締吏員

榎本安一

蠶業取締吏員

木村隆夫

蠶業取締吏員

小林徳之助

蠶業取締所書記

野川又太郎

○ 報

○轉任 和歌山中學校教諭田邊長助ハ去月三十一日愛知縣女子師範學校教諭ニ粉河中學校教諭兼舎  
監天野泰ハ本月一日石川縣珠洲郡立實科高等女學校校長兼教諭ニ執レモ轉任セリ

○資格昇進 按手片平英夫ハ本月一日本縣技師ニ任セラレ高等官八等年俸五拾圓ヲ下賜セラレタリ

○町村吏員ノ異動

○明治四十五年四月五日認可

伊都郡懸野村長 小島常一郎

日高郡船着村助役 山 晋市

...

...

...

...

...

...

...

○觀象

自三月二十五日至三月二十七日氣象

(和歌山測候所觀測)

種目	四月一日		四月二日		四月三日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七六六・二	七六七・二	七六七・二	七六六・六	七六二・一	七五七・一
平均氣溫	六度五	六度二	七度九	六度八	一〇度六	一二度一
最高氣溫	一〇度三	一度〇	一度四	二度二	一三度四	一五度九
最低氣溫	二度六	二度四	〇度四	〇度九	八度九	八度四
最多風向	北	北	西南四	北	北西	北西
平均風力	六米七	四米五	二米六	一・八	三米二	二米七
天氣	晴	晴	晴	曇	曇又雨	曇少雨
降水量				〇精四	二・一精七	七精二
記事雜象	正午并午後二時北及北東ノ強風吹タ	晝間日暈ヲ映シ夜間月暈現ル		曉間月暈ヲ映シ夜間降雨又風雨強カ可シ夕刻縣下全部ヲ警戒ス	朝間并午后降雨	朝間降雨夕刻縣下全部ノ警戒ヲ解除ス

<p>和歌山縣知事官房</p> <p>明治四十五年四月六日發行</p> <p>和歌山縣知事官房</p>	<p>（此處為地圖或表格內容，因圖像模糊，文字難以辨認）</p>
---	----------------------------------

明治四十五年四月六日發行  
 和歌山縣知事官房  
 和歌山縣知事官房

和歌山縣知事官房

印刷所  
 和歌山縣北休實町六番地  
 印刷所